

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 株式会社コミュニケーション・ワークス			・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)																		
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・下記の会議体や研修会で経営理念・ビジョン、方針を浸透させている ・経営方針発表会(2回/年)、店長会議(8回/年) ・管理改善の研修(C-QM研修)、ゲーム運営技術研修(ブライズ研修、メダル研修)								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令順守について就業規則で定め、定期的に社員教育をしている ・入社時に社員に説明し、雇用契約を結んでいる																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・不正競争行為に関与しない方針を就業規則で定め、社員に周知している ・取引先と締結する取引基本契約で明確にし社員に周知している										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・当事業(アミューズメント事業)が社会・環境に影響を及ぼしていないかを監視・監督する部署(経営企画室)を設けている																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・社員が開発する営業のノウハウについては開発者を明確にして社内に周知している ・ナレッジマネジメントの一環として会社の知的財産についてはアクセス権を設定し保護している ・守秘義務について就業規則で定め、社内で行扱う情報が漏洩しないよう社員教育を行っている								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報保護について就業規則で規定し社員に周知している ・入社時教育とともに個人情報保護の誓約書および同意書への署名を求めている																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・ゲーム機メーカーや景品卸先等とSDGsに関する当社の取組みを伝え、その理念に沿った取引となるよう双方が協力をし合うことを確認している																16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5				8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●											9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・現在の代表取締役(現オーナー)の実子を後継者として取締役に就任させ事業承継の準備を進めている ・事業承継を担う次世代幹部の育成を行っている									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●			1	2			5				8				12	13	14	15	16
労働・人権	12	【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・ハラスメントの禁止等について就業規則で定め、社員に周知している ・専務取締役を責任者とし、2名(男性と女性)が窓口となり対応する体制を整えている				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・メンテナンスマニュアル(事故防止を含む)を整備し、専任者(フィールドカウンセラー)が解説、指導教育を行っている ・事故が発生した場合、事故報告書にて発生原因と再発防止策を明らかにし、会議体を通じて周知している ・従業員50人以上の店舗は産業医を指定し、定期的に安全衛生委員会を開催している				3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金の考え方を理解し、職位別の業務(責任と権限)を整備し、これを運用している					5.5				8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・国の働き方改革推進に沿い、公休の消化、有給休暇の取得を推進している ・時間外労働は3交代のシフト制により基準内に収める仕組みを作っている				3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・教育機会として、店長会議(8回/年)、管理改善の研修(7回/年)、ゲーム運営技術研修(16回/年)、その他講演会等(1回/年)を実施している					4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・年1回の健康診断を実施し、診断結果をファイリングし、再検査のすすめや健康指導(外部委託)を行っている				3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・女性店長の登用のほか定年再雇用制度により高齢者が活躍できる環境を整備している					4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●					3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・クラウドやiPadの活用により全店一斉(リアルティ、タイムリー)に情報の共有化を図ることで業務の効率化を進めている									8	9.1		11	12					
21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●					3	4					8	9			12					

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 株式会社コミュニケーション・ワークス			・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)																	
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄対象となるゲーム機器は、分解、分別したのち有害物質の適切な廃棄処理を行う業者に委託している			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・店舗ごとの電気使用量を把握し、照明は順次LEDに交換することで使用量を削減している							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・電力使用量から1平米あたりの温室効果ガス排出量を算出、把握し、電力使用料の削減に取り組んでいる ・サーキュレータを導入しエアコンの冷房効率をあげることで温室効果ガスの排出を抑制している		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・プラスチック製の景品ケースは、お客様が廃棄しないよう回収BOXを設置し回収、再利用している						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・お客様に渡す景品袋の配布は、セルフからスタッフによる手渡し方式に変更し、削減している ・事務所内では、ペットボトルは本体とキャップ、包装材に分別し、リサイクル資源として処理している									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・台所や洗面所、トイレ等の水道には節水弁を取り付けて水道水の使用量を抑えている		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・省電力のゲーム機の導入または入れ替えを進めている									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・省電力のゲーム機の導入または入れ替えを進めている							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・社用車は入れ替えのタイミングでエコカーを導入している									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名:株式会社コミュニケーション・ワークス

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・ゲーム機器の安全性維持や故障時の速やかな対応のために、メンテナンスの専門部隊を配置している ・売場の安全性確保のために、定期的な巡回を行っている ・店舗のコンセントにはショートによる火災を予防するためタイトラキャップを取り付けている			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・店舗および事務所にて車椅子が通れる通路幅を確保している ・障がい者、高齢者の目線に立ったスタッフによる接客サービスを強化している ・子供用の踏み台を準備し、ゲーム機操作(プレイ)がしやすいようにしている									9.1	10	11.7					17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・知的障がい者とそのご家族をボウリングとゲームに招待するイベント(ラブエイド)を毎年開催している ・高齢者の健康の維持・増進を目的に、宇土市・荒尾市後援の健康ボウリング教室を開催している ・警察、教育委員会、学校、PTA、防犯協会等との意見交換会(地域懇談会)を実施している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・防災組織を編成し、定期的に防災訓練を実施している ・全従業員がハザードマップをもとに避難行動計画を立てている				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・SDGsの意味・目的と当社の具体的な取り組みについて、会議体を通じて社員に周知、教育を行っている	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・毎年インターンシップを受け入れている ・学校からの児童の職場体験依頼に対応できるようにしている				4				8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・地元開催の合同企業説明会に参加し、地元での就職を促進している				4.4				8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17